

る用途で使用される樹脂ベアリングに焦点を当てるため、同社は2003年から隔年で同賞を開催しており、前回2021年は、41カ国から582件の応募があり、過去最多の参加者数となった。

同賞では、シリーズ製品からカスタム製品まで、すべての同社製ベアリング製品が対象となり、応募事例の試作品が一つでもあれば審査対象となる。技術面・コスト面に優れ、独創性にあふれる事例にマヌス金賞・銀賞・銅賞が授与されるほか、特にサステナビリティに優れたプロジェクトには、グリーンマヌス賞が授与される。応募締切は2023年2月10日で、受賞者は、ハノーバー・メッセ2023で表彰される。



砥粒加工学会 次世代固定砥粒加工プロセス専門委員会、第107回研究会を2/24に開催

砥粒加工学会 次世代固定砥粒加工プロセス専門委員会は、2023年2月24日（金）、TKP 神田駅前ビジネスセンター（東京都千代田区）とCisco Webex Meeting（オンライン）のハイブリッド形式で、第107回研究会「AIを用いた工作機械への加工ノウハウ導入技術～熟練工技術のデジタル化と省人化によるものづくりを目指して～」を開催する。

近年、加工現場では熟練工のノウハウの伝承が課題であるが、熟練工の減少により伝承が難しいのが現状となっている。一方、機械学習を用いたAI技術により、見た目や感覚

によるものや数値化できなかったものをパターン化により分類できるようになってきている。この技術を用いることで、熟練工が永年積み重ねてきた経験をデジタル化できるようになり、それらを工作機械に実装することで、誰でも熟練工のように加工できるようになることが期待されている。今回の同研究会では、これまでの熟練工の感覚をAIを用いてどの程度工作機械に実装できるかを検討する講演などが企画されている。

同研究会の概要や、申込みなど問合せ先は以下のとおり。

○日時：2023年2月24日（金）13:00～16:50

○会場：対面開催とオンラインのハイブリッド形式

<対面>TKP 神田駅前ビジネスセンター カンファレンスルーム5C（東京都千代田区）

<Web>Cisco Webex Meeting

○参加費：次世代固定砥粒加工プロセス専門委員会 会員 無料/非会員 15,400円(税込)

○申込締切日：2023年2月16日（木）

○プログラム

講演1「エンジニアのための機械学習の基礎と加工時の異常検知への応用」 周 立波 氏（茨城大学）

講演2「ディープラーニングの導入による砥粒加工のデジタル化」 川下 智幸 氏、坂口 彰浩 氏（佐世保工業高専）

講演3「AIを用いたモノづくりの知能化技術による省人化」 野々山 真 氏（ジェイテクト）

講演4「工作機械×AIで実現する新しい価値創造への道のり—研削盤メーカーとの取り組み事例—」 馬場 勇氣 氏（マクニカ）

○問合せ・申込み先：

<https://www.jsat-sf.jp/event.html>

砥粒加工学会 次世代固定砥粒加工プロセス専門委員会事務局 田附 宙美 氏

FAX 048-829-7046

E-mail sf-office@mech.saitama-u.ac.jp